

われもこう 第3号

1998年11月22日発行

前沢の原っぱ（南）に
マツムシソウの花が
咲き、種を結びました。



こぼれた種は、2年後にまた花を
咲かせます。皆さん、暖かく見守ってください。



他にも色とりどりの
花が咲き乱れ、道行く
人々の目を楽しませて
くれたことと思います。
「空き地に花を！」を
合い言葉にはじまった
われもこうの会の活動、
1年めの成果として

前沢の原っぱの写真が
「長野県景観サポーターの

景観スナップ写真50選

に入選したのですから、たいしたコトではありませんか？
何よりもご協力下さった皆さまのおかげです。

記念品の
図書券2000円分は
われもこうの会へ
寄付します。

「われもこうの会」によせて

先日、軽井沢に野の花を増やす会「われもこうの会」のあるのを聞きしました。

私も、日頃から歩道の「チヨット」した空き地に十三年ほど前から花を植えております。一年めは、十メートル位でしたが、今では三百メートル位になりました。

当初は、五、六メートル毎に、「ナナカマド」が植えられておりましたが、その間は草ぼうぼうで、その中には空きカン等が散乱しておりました。その頃の御代田方面のあちこちの家庭の庭に咲く「ジヤーマンアイリス」を見て軽井沢の初夏の花はこれだと思

いつき、植えました。初めて咲いた一番花の喜びは言葉に言い表せない喜びでした。

見る人、通りがかりのひとびとに喜ばれているうちに、現在の様に広がっていきました。

昨年からは、近所の人達にお手伝いをして頂こうと呼びかけ、チューリップと一緒に植えようと、七人の人達に参加をして頂きました。今年は大雪続きでしたので花が咲く心配でいたようです（自分で植えたからです）。今年の連休には、素晴らしい花が咲きました。その時の嬉しそうな姿をみて、自分で植えた花が咲くことの喜びを七人の人

達が感じ、又お手伝いをするよといってくれました。

今、世の中は金銭の消費から時間の消費を如何に使うか求められております。そんな中「われもこうの会」の皆さんの松虫草とオミナエシの里親になりませんかの記事をみまして、軽井沢の心の豊かさとは、これだと思いました。

私も去年初めて松虫草を道路の空き地に植えました。その咲いたときの喜びを多くの人たちに感動を与えるためにも、この会がますます参加者を増やして、ご活躍することをご期待申し上げます。

M.S



みなさん、ありがとうございました

木戸先生-ユリ/中島さん-スイセンの球根/山崎さん-スイセン、キキョウ/磯部さん-草とり/古越さん-わら/郷さん-ハーブ類他

「紙上ビデオ」

「本の館を住友パワーで復元する」 NHK TV 98年9月14日放送

「未来派宣言」より

富士山からの湧水の町、静岡県三島市。街を流れる源兵衛川は、ゴミだらけの悪臭漂う街の厄介者の川だった。四〇年ほど前には、魚もホタルもいたのに。

八年前、市職員の渡辺豊博

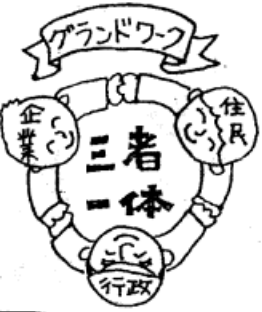
さんは、自分が小さいころ遊んだきれいな川を取り戻せな

いか、と行動を起こした。

グラントワークと誌?

渡辺さんは、このために「グラントワーク」というやり方をとった。これは、英国で始まったボランティア運動で、荒地を公園などに改造することで、街を住みよくしてい

こう、というもの。実際に汗を流して働く労働力は住民が必要ならサービスは行政が、資材は企業が提供するという関係の中で、三者の長所を伸ばしあっているという運動である。



三島市の関係一五団体がこのプロジェクトに賛同した。住民へのアンケート調査の結果

この本をおすすめ!



「夕暮から育てる山草草」

橋の葉書房 笠 辯子 著

辻さんは、18才の時に初めて訪れた信州の山々のお花畑の美しさに魅せられて、山野草を栽培するようになった。実生で山野草を育てる面白さを知ようになった。日本の野性植物5300種の内の約17%の種が、すでに絶滅したか絶滅寸前といわれている。山野草ブームは、自然破壊という後遺症を残しているのだろうか?自然を愛する著者の心が伝わる良書。

落ち葉の季節

たき火も
いいけど...

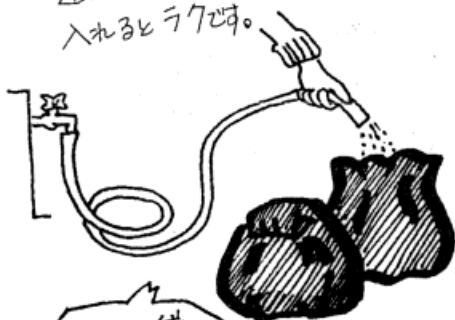
④ ⑤ ⑥

腐葉土をつくらう!

ゴミの収集が有料になって
あまり使われなくなったのが
黒いビニール袋。おうちで眠
っている黒いビニール袋の出
番です!



保管場所に
運ぶから水を
入れるとラクです。



ビニール袋に
つまっているから
運搬も
超カンタン!

1. 落ち葉を集めてギュウギュウに
ネット袋やビニール袋に詰め込む。

(松の葉などはダメです。)

すき間なく詰め込むのがコツです。

2. ビシャビシャになるまで水をかける。
30分後にもう一度水をかける。

3. ポリ袋の口は折りたたむ程度にする。
ネット袋もポリ袋に入れ同様に口を
折りたたむ。

4. 春になったら庭作り、プランター作りに活用。
「われもこうの会」への寄付はもちろん大歓迎!!

(参考文献:「ベランダ、庭先でコンパクト堆肥」農文協)